

【事業所における自己評価結果（公表）】

公表：令和5年 4月

事業所名 児童発達支援事業所ころころ伊場

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			
	② 職員の配置数は適切である	6		・安全に支援ができる体制を整えています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	・個人の特性を踏まえ、環境構成に配慮しています。	・バリアフリーが必要なケースが生じた際に実施していきます。
	④ 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている	6		・室内の清掃や玩具の消毒、設備の安全点検を定期的に行っています。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	・療育のサイクルとして取り入れています。	・全職員が周知できるよう善処していきます。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		・ニーズに応じた個別相談や園訪問、参観の実施等を行ってきました。	・頂いたご意見を次年度の業務に反映していきます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1		・外部評価と業務改善を視覚化し職員間で共有します。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保している	6		・職員全員での研修の参加の機会を設けていきました。	・研修の参加を通し、共通認識を持った支援を心がけていきます。
適切	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		・個々の特性やニーズに寄り添ったきめこまやかな支援計画を作成してきました。	・今後も日頃の聞き取りを大切にしながら適した計画を作成していきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		・ツールを活用し、きめこまかな把握を行ってきました。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援がガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されている	5	1	・個々の特性を把握し、必要な項目や支援内容を設定してきました。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		・職員一同で共有し、支援を行ってきました。	

な 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・クラス担任だけでなく、全職員で話し合いながら立案や計画を行ってきました。	
	15	活動プログラムが固定化しないように工夫している	6		・職員間で意見を出し合い、様々な活動を取り入れてきました。	・利用児が様々な経験を重ねることができるよう活動を取り入れていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	6			
	17	支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・事前の相談や計画、準備を連携のもと綿密に行ってきました。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	6		・毎日、登園児や活動の振り返りに重きを置き、丁寧に話し合いを設けていきました。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・支援や活動、環境構成等の振り返り、改善を日々行ってきました。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1	・関係機関と連携を図り、情報教諭等を行ってまいりました。	・継続的かつ綿密な連携を心がけていきます。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・電話相談や園訪問を通し連携を図ってきました。	
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		・サポートかけはしシートを活用し、綿密に情報提供を行ってきました。	
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	26	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会がある	5	1	・併設保育園の活動や行事等に参加し交流の機会を設けてきました。	・計画的に実施し継続していけるよう善処します。
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	1		・参加回数を増やし、地域の情勢の把握や連携に努めていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	1		・令和5年度から実施致します。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、利用者負担に等について丁寧な説明を行っている	6		・契約時に行っています。	
	③⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		・説明をし、同意を得ています。	
	③⑫	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		・定期的に個別相談を設け実施しています。	
	③⑬	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	・保護者懇談会を実施しました。	・感染症等の影響で中止が重なったため、継続的に行うことができるようにします。
	③⑭	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		・要望に応じて個別相談の場を設けてきました。	
	③⑮	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			
	③⑯	個人情報の取り扱いに十分注意している	6			
	③⑰	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	③⑱	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1		・地域住民と触れ合う機会を模索していきます。
非常時等の対応	③⑲	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		・毎月実施しています。	・訓練の実施の様子やマニュアルを周知、発信していきます。
	④⑩	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			
	④⑪	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	6			
	④⑫	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		・事案が発生した都度、記録作成と話し合いを行っています。	
	④⑬	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応している	6		・職員間で話し合う機会を設けてきました。	・継続的に行っていきます。
④⑭	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで児童発達支援計画に記載している	6			・より細やかに説明を行っていきます。	